

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ひまわりクラブ		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 26日		～ R8年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	R8年 1月 26日		～ R8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	令和7年9月に開所したばかりではあるが、児童発達支援事業ひまわりクラブと隣接しており、児童発達支援事業ひまわりクラブをご利用いただいた利用者が多く、幼少期からの成長や発達に関わらせてもらい、利用者の様子がよくアセスメントできること。	・児童発達支援事業ひまわりクラブからの引継ぎで、パーソナルシートを共有したり、放課後等デイサービスとしては、フェイスシートを記入して頂くと、「途切れない支援」が提供できること。	・ご利用者が、自分の気持ちを自分の言葉や自分で描いた絵やその他の方法で伝えられるようになってきている為、利用者自身の気持ちに寄り添いながら、サービスの提供をしている。
2	近くに公園がたくさんあり、しかも徒歩でいける範囲である。公園には、地域の小学生が遊んでおり、何度も顔を合わせるうちに、自然と一緒に遊ぶようになり、地域の子どもの交流がとれる良い場所になっている。	・同じ公園に歩いて行くことで、近所の方や公園に遊びにくる地域の子どもの交流が図れるようにしている。	・事業所の中に色々な設備がある。台所では、料理をしたり、中庭では、ダイナミックに遊んだり、利用者の創造性が活かされるように、サービスの提供を検討していく。
3	・TEACCHプログラム（視覚支援、構造化、手順書等）を活用し、自分で行動できるように支援をしている。また、アセスメント表に記録し、その後、分析や検証を行い、指導員と共通認識を持つことができる。	・ABC分析をもとに行動を分析している。	・定期的に学習会を行う。また、各自、自己研鑽に努めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・令和7年9月に開所したばかりで、利用者数が少ない。	・令和8年4月からのご利用希望者が多数いる為、新規でのご契約を受け付けていない。	・令和8年4月からは、定員10名でご利用開始できる予定。
2	第三者による外部評価を行っていない。	・費用がかかる為。	・管理者と相談する。
3	・開所したばかりで、色々な点で事業所としての経験値が低いと思われる。	・ご利用期間が半年という低学年の利用者が多い為。	・教員免許を持っている児童指導員も多数いたり、就労で指導員をしていた児童指導員もいるため、学習支援や学校の取り組み、就労など、ライフステージへの見通しがたやすいことを活かしていく。